

# SMA アダプタ MW-C-JJ-00-1 データシート

Ver. 1.0.2

モノワイヤレス株式会社

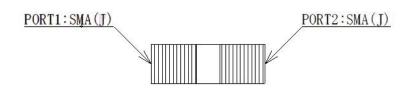
## 1. 製品概要

TWELITE シリーズ同軸コネクタタイプ専用、SMA アダプタ。

## 2. 主な特徴

- 1) 両端 SMA(J)端子のアダプタ。
- 2) 接続方法。(詳細は項目「5」を参照)
  - SMA(P)と SMA(P)を接続するために使用。
  - SMA ケーブルと SMA ケーブルを接続するために使用。
- 3) 環境への配慮: RoHS。

# 3. 外観寸法



<図 1>

## 4. 仕様

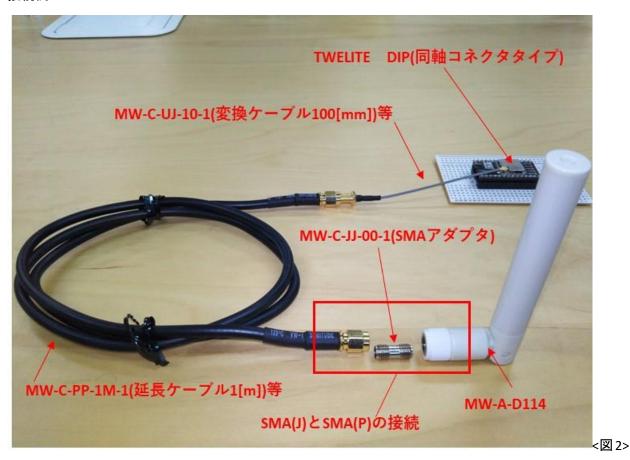
#### 表1 仕様

型番	MW-C-JJ-00-1
PORT1 のコネクタ	SMA(J)
PORT2 のコネクタ	SMA(J)
損失	0.1[dB]以下
使用温度範囲	-65° <b>~</b> +165°
耐久性と締め付けトルク	500 回以下 0.45[N·m]



### 5. 接続方法

### 5.1 接続例



ケース外設置アンテナ(MW-A-D85、MW-A-D114)と・SMA アダプタ・SMA ケーブル(注 1)・変換ケーブルの接続パターンのみ使用可能です。変換ケーブル・SMA ケーブル・SMA アダプタは日本国内の認証を得た当社取扱品を使用してください。

注 1:SMA ケーブル同士の接続は、2 本まで可能。

#### 5.2 各種接続方法

本製品を用い以下1)~2)の接続方法を説明する。

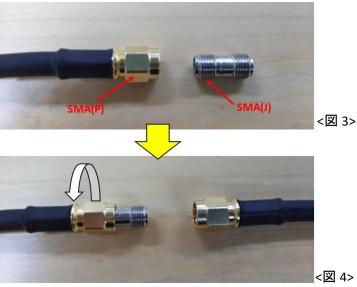
本来トルク管理を行うべきだが、本製品はトルク管理用の切り込み等が存在しないため、暫定的な接続方法の一例を説明する。

接続後は、項目「6」を参照に絶縁テープ等(絶縁テープの一例:3M 社製 2242)を巻き付けることを推奨する。

- 1) SMA ケーブル(MW-C-PP-xx-1)同士の接続方法
- 2) SMA ケーブル(MW-C-PP-xx-1)とケース外設置アンテナ(MW-A-D85、MW-A-D114)の接続方法



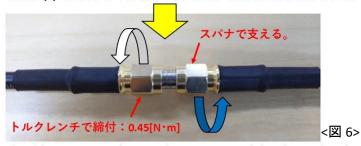
### 1) SMA ケーブル(MW-C-PP-xx-1)同士の接続方法



①SMA(P)の六角ナット部分を白色の矢印の方向に軽く手締めする。



②SMA(P)の六角ナット部分を白色の矢印の方向に軽く手締めする。



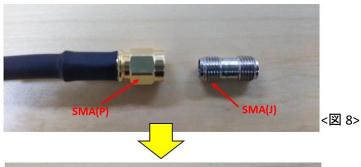
- ③片側のSMA(P)の六角ナット部分をスパナで青色の矢印方向に支える。
- ④もう片側のSMA(P)の六角ナット部分を締めすぎに注意し、トルクレンチ(0.45[N·m])で締め付ける。

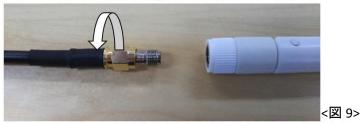


- <図 7>
- ⑤片側のSMA(P)の六角ナット部分をスパナで青色の矢印方向に支える。
- ⑥もう片側のSMA(P)の六角ナット部分を締めすぎに注意し、トルクレンチ(0.45[N·m])で締め付ける。
- ※上記の接続方法は一例であり、信頼性はお客様で判断してください。

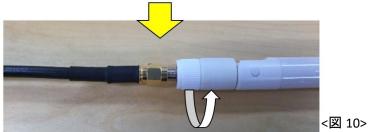


2) SMA ケーブル(MW-C-PP-xx-1)とケース外設置アンテナ(MW-A-D85、MW-A-D114)の接続方法

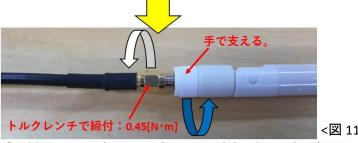




①SMA(P)の六角ナット部分を白色の矢印の方向に軽く手締めする。

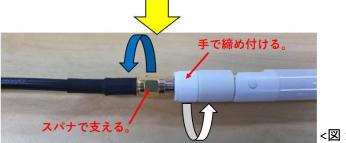


②SMA(P)の丸型ナット部分を白色の矢印の方向に軽く手締めする。



<図 11>

- ③片側のSMA(P)の丸型ナット部分を手で青色の矢印方向に支える。
- ④もう片側のSMA(P)の六角ナット部分を締めすぎに注意し、トルクレンチ(0.45[N·m])で締め付ける。



<図 12>

- ⑤片側のSMA(P)の六角ナット部分を手で青色の矢印方向に支える。
- ⑥もう片側のSMA(P)の丸型ナット部分を締めすぎに注意し、手で締め付ける。

※上記の接続方法は一例であり、信頼性はお客様で判断してください。

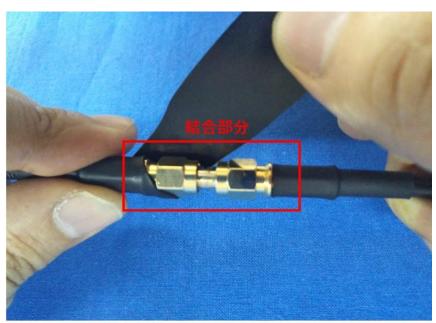


# 6.追加工方法

### 6.1 接続後の追加工方法

本製品を使用し MW-A-D114 や SMA ケーブルを接続させた場合の追加工の一例を説明する。 ※防水性や紫外線に対する遮蔽性等は、お客様で判断してください。

1) SMA ケーブル同士の追加工法 MW-A-D114 と SMA ケーブルの結合部分を覆う様に絶縁テープを巻き付ける。



<図 13>

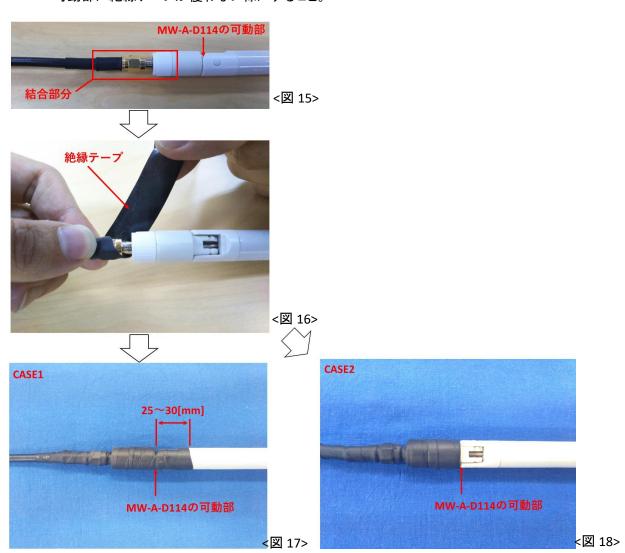




<図 14>



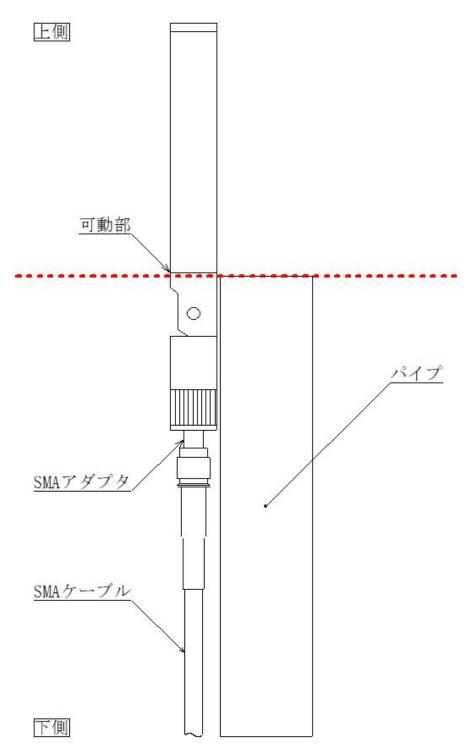
2) SMA ケーブル(MW-C-PP-xx-1)とケース外設置アンテナ(MW-A-D85、MW-A-D114)の追加工法 CASE1:アンテナの可動が必要無い場合、接合部、可動部を覆う様に絶縁テープを巻き付ける。<図 17> CASE2:アンテナの可動が必要な場合、接合部分を覆う様に絶縁テープを巻き付ける。<図 18> 可動部に絶縁テープが覆わない様にすること。





## 7.設置例

図に示す赤線部分より下側部分に、タイラップ・絶縁テープなどを用い、パイプ等に括り付ける。 ただし、アンテナ全体をパイプ等に括り付けないでください。(アンテナ特性が悪化する可能性があります。)



<図 19>

※上記の設置例は一例であり、信頼性はお客様で判断してください。